



森ボラ 通信

第74号 2008年7月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrin2002@nifty.com

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■ トピックス

◆ 西野第二のニセアカシア萌芽伐り作業終了

平成16年秋の台風で被害を受けた西野第二の札幌市都市環境林の内、平坦地箇所（199林班97小班、1ha）について、平成17年から、風倒被害木の整理と併せてニセアカシアの繁殖を抑えるための萌芽伐りを行ってきました。

本年の作業は6月20日に行ないました。この4年間の萌芽伐りの成果は大きく、萌芽の発生が大幅に減り、本年をもって萌芽伐りを終了できる見通しとなりました。

当初は、風害跡地に広葉樹の植栽が必要と考えていましたが、風害の影響で傾いた幼木を紐で起こした作業の効果が現れたことと、ヤチダモ、ハルニレ、ミズナラ、イタヤカエデなどの天然更新が非常に良好で、広葉樹の植栽の必要は無い状況です。

この箇所は土砂が堆積した箇所であることから、土地が肥沃で、天然更新木の成長が良く、特にヤチダモの成長良好なものは、平成17年に誤刈り防止のために、地上60cmくらいのところに巻いたテープの痕を残したまま1.8m位まで成長し、本年は既に60cm位伸長しています。

明年以降の作業は、肥沃な土地であることから著しく成長しているイタドリ（草丈2～3m位）などの刈り払い（広葉樹幼樹の刈り出し）を、5月下旬にフキなどの山菜採りと併せて行なうことで、広葉樹二次林の成林が期待できると思います。

有明第二の植栽地の状況

6月27日、有明第二の広葉樹植栽箇所の下草刈り作業を行いました。

有明第二の植栽地は、30林班12小班的無立木地を、平成16年の夏の暑い時期にネマガリダケを刈り払って、0.08haに。翌17年春に二青会の人達と一緒にミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、イタヤカエデ、カツラ、オニグルミなど200本植栽したものです。この他に天然更新を期待して、地拵だけをして植栽しなかった箇所0.02haがあります。

植栽地の状況は、カツラに野ネズミの被害がでている他はほぼ良好な成長をしており、ヤチダモ、オニグルミはそろそろ下草刈りを終了しても良い状況になっています。また、カンバ、ホオノキ、イタヤカエデなどの天然更新があり、特にカンバが多く、中には1m位に伸びているものもあり、将来、広葉樹林として成林することは間違いない状況です。また、地拵だけをして植栽しなかった箇所もカンバ等の天然更新が良好です。

明年以降、部分刈りも含めて2年位は下草刈りが必要でしょう。また、残りの無立木地箇所は、筋に地拵をして、地表を筋状にかき起しをしてやれば植栽しなくてもカンバの天然更新で森林の造成は可能と考えます。（記、棟方）



◆ 7月1日 幌南の森 活動報告

今日は幌南小学校の総合的な学習の時間「しんじゅタイム」で6年生88名が環境省手配のバスで藻岩山南面の「幌南の森」にやってきました。私たち森ボラ、林業技士会員、PTAは協会製作の看板のまえで対面しました。高野さんを含むゲストティーチャー4名が森を案内してPTAの方たちは遊歩道の草刈り、当協会は危険木の除去を行いました。



遊歩道の近辺の枯れた立ち木、懸かり木は枯れ枝が何時落ちてくるかわかりません。チルホールで牽引して倒し一部の腐食のひどくないものはこの先遊歩道の階段に使う予定です。機会があれば粉碎シヤマクワガタの棲家としたい。

遊歩道上に懸かった2本の倒木はその下を子供たちが潜り抜けて楽しむように遊び心で取りあえず残しました。枯れ枝は除去してありますが秋に先生方の意見を聞いて切るべきか決めたい。

子供たちは都会っ子なので珍しいのでしょうか、なんでも興味を持って森の中を走っていました。最後に森ボラで作った樹名板100枚を代表の子供に贈呈しました。同じ森林ボランティア活動でも子供たちと一緒に活動をすると達成感が違います。(記、酒井)

平成20年度「幌南の森」活動計画書

活動実施日	7月1日	8月29日	(9月2日)	9月17日
学校行事	6年生観察散策	4年生森のカード	6年生樹名板設置	3年生樹木草花観察
森ボラ活動内容	遊歩道・樹名板製作	遊歩道整備	有志で参加手伝い	遊歩道整備

◆ こども環境サミット << 落書き帳 >>

2008年6月末の「こども環境サミット札幌」にボランティア参加してきました。40名の外国から来る子供たちと沢山の専門スタッフ、専門通訳、グループリーダー、チャペロンに子供たちは囲まれて日本らしく完璧にプログラムされた進行でした。

前日に到着した子供たちがレセプション室に集まっているとき面白い光景に出会いました。私は入り口でIDチェックをしていたのですがドイツとインドの子供たちは部屋の中央で明日の発表会のリハーサルを始めたのです。見るからにまじめそうな子供たちでした。ほかの子達は剣玉やトランプをしており私も任務を忘れ、ポートランドからの



子供たちの21ゲームにいれてもらい最後は7ならべをしました。こんな時でも一人で2階から見ている子供もいるもので「こんにちは」と声をかけると「こんにちは」と日本語で返してはきまず。しかし集合時間になると必ず遅刻してきます。英語も流暢で名前はファン君と云う初等科9年生だそうだが、静かな気品高い顔のタイの子で将来は外交官にでもなるのかなと私はまぶしく見ていました。初日にアイスブレイキングの時間があつたようですがほんとに心の氷が砕けたのでしょうか。そしてなにからなにまで完璧でピシッリ詰まったスケジュールがその子にとって日本は窮屈な国との印象を与えたのではと心配です。玄関で毎日挨拶を交わした白髪の老人ボランティアのことを息抜きとして思い出してくれる日のあることを願っています。短い時間の出会いでしたがその老人にとっては貴重な時間でした。(記、酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・棟方・山中・和田・佐坂

1. 連絡事項

- ・新入会者紹介(6月入会5名、7/05現在の総数は111名です。)
梅津鉄子さん(西区)・浅野昌江さん(中央区)・児玉芳明さん(中央区・コンサドーレ社長)・佐藤邦興さん(厚別区・コンサドーレ専務)・濱田一憲さん(中央区)。
- ・「森林ボランティアと創る石狩の豊かな里山モデル事業」(石狩支庁)に参画、モデル事業に協賛対応します。今回は、白幡山での第2回検討会(7/24)に参加します。
- ・コンサドーレ札幌が支笏湖国有林で展開する「コンサ100年の森」づくりを森林・植樹の技術面から支援・指導する事とし、協定調印式と記念植樹会に出席しました。今年度は秋の植樹祭に向けて支援・参加してゆきます。
- ・りんご園活動は好天にも恵まれ順調に推移、夏場の作業が終了しました。8月末から再開しますので、秋に向けての活動参加をお願いします。
- ・10月の研修旅行希望者は、人数にまだ若干の余裕があります。参加希望の方は今回同封の作業参加申込書にて申込願います(今回で締切ります)。
- ・会員・賛助会員からの投稿、写真提供をお待ちします。身近な出来事・お便りをお願いします。

■ お知らせ

◆ 「コンサ百年の森づくり」協定調印式と記念植樹を実施

北海道フットボールクラブ(コンサドーレ札幌)は支笏湖の台風被災国有森林の復興支援を「コンサ百年の森づくり」として今年秋植えを実施します。

初回として年間約2haペースで植樹を行い、全11.63haを未来の子供達への贈り物とすることを発進しました。

6月25日(水)に北海道森林管理署で調印式、6月28日(土)は支笏湖の「コンサ100年の森づくり」現場でシンボル樹の記念植樹を行いました。シンボル樹はアカエゾマツ15年生、樹高4mできれいな樹形をしています。

コンサドーレは児玉社長、佐藤専務他、FW石川謙伍選手、FW横野純貴選手とマスコットキャラクターのドーレ君、他が参加しました。今後は密接に連携をとり植樹事業の技術指導・支援で協働する事になります。



選手のサイン入り
協定書が完成。

これ、森ボラのヘルメット



7月18日植樹後の生育状況を確認する

活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
7月17日(木)	澄川	16名	南幌中学校林間教室
7月15日(火)	りんご園	8名	摘果
7月14日(月)	幹事会	11名	札幌市みどりの課との懇談
	りんご園	5名	摘果
7月12日(土)	南幌町	9名	草刈
7月11日(金)	澄川	12名	除伐・木工
7月10日(木)	りんご園	7名	摘果
7月9日(水)	りんご園	7名	摘果
7月8日(火)	澄川	1名	木工・看板製作
7月5日(土)	りんご園	9名	摘果
	リンテージプラザ	8名	ボランティア交流会
7月4日(金)	りんご園	14名	摘果
7月2日(水)	アイケンの森	13名	除伐
7月1日(火)	幌南の森	11名	歩道づくり
6月30日(月)	木工	10名	
6月28日(土)	支笏湖コンサの森	4名	コンサドーレ植樹祭支援
	澄川	18名	除伐・木工
6月27日(金)	有明第2	8名	草刈
6月25日(水)	森林管理署	2名	コンサドーレの森調印式
	りんご園	8名	摘果
6月24日(火)	りんご園	14名	摘果
6月21日(土)	りんご園	7名	摘果
6月20日(金)	りんご園	4名	摘果
	西野第2	9名	草刈
6月18日(水)	りんご園	12名	摘果
	野幌	4名	草刈

ひとこま

◆ 7月18日 富丘小の森 活動報告

丸太の看板設置

手稲富丘の植林地に丸太の看板を設置し富丘小学校の6年生120名と植樹除幕が行われました。丸太で看板を建てたいとのモーニングロータリークラブの意向を受けて、1月の吹雪の中で倒木処理した中から探し出した暴れ丸太を加工し、山中さんが豪筆を振るい、彫り込みをしたものです。森林ボランティアらしい野趣溢れたものとの評価を得ました。これで看板設置は斉藤りんご園 野幌国有林 澄川都市環境林 藻岩山幌南の森、南幌ヤナギ園に続き6箇所となりました。

追記；この植林地は2003年秋に市植樹祭があり会員が外部企画行事として参加し、現在は北の森づくりサークルの活動地で写真も主宰の東三郎先生がご挨拶中です。（記、酒井）

